

雲 -神の足元の塵

主は怒るのが遅く、力に富み、決して悪人を罰しないことはない。
主は旋風と嵐の中にも道を持っておられる。
雲は彼の足の塵である。ナホム書 1:3

モーセ五書

私は雲の中に弓を置く。それは私と大地との間の契約の証となるだろう。 そして、わたしが地の上に雲をもたらすとき、雲の中に虹が現れるであろう。 虹は雲の中に現れる。わたしはそれを見て、神と地上のすべての生き物との間に結ばれた永遠の契約を思い出すであろう。創世記 9:13-14,16

主は昼は雲の柱となって彼らの前を進み、夜は火の柱となって彼らを照らし、昼も夜も彼らを進ませた。 彼は昼は雲の柱を、夜は火の柱を、民の前から取り去らなかった。（出エジプト記 13:21-22）

イスラエルの陣営の前を進んでいた神の使いは、彼らの後ろに移り、雲の柱も彼らの前から去り、彼らの後ろに立った。 そしてそれはエジプト人の陣営とイスラエル人の陣営の間に入り、エジプト人にとっては雲と暗闇となったが、イスラエル人にとっては夜の間も光となった。そのため、両者は夜の間、互いに近づくことができなかった。 そして、朝の見張りの時間に、主は火の柱と雲の柱を通してエジプト軍を見下ろし、エジプト軍を混乱させた。（出エジプト記 14:19-20,24）

アロンがイスラエルの民の全会衆に語りかけたとき、彼らが荒野の方を見ると、見ょ、主の栄光が雲の中に現れた。 出エジプト記 16:10

主はモーセに言われた。「見ょ、わたしは濃い雲の中にあってあなたのところに来る。それは、わたしがあなたと話すとき、民がそれを聞き、あなたを永遠に信じるためである。」 モーセは民の言葉を主に伝えた。 そして三日目の朝になると、雷鳴と稲妻が起こり、山の上には濃い雲がかかり、ラッパの音が非常に大きく響き渡ったので、宿営地にいた民は皆震え上がった。 出エジプト記 19: 9、16

モーセが山に登ると、雲が山を覆った。 主の栄光はシナイ山にとどまり、雲が六日間山を覆った。そして七日目に、主は雲の中からモーセを呼び出した。 モーセは雲の中に入って山に登り、四十日四十夜山にいた。（出エジプト記 24:15-16,18）

モーセが幕屋に入ると、雲の柱が降りてきて幕屋の入り口に立ち、主はモーセと語り合った。 そして、民は皆、雲の柱が幕屋の入り口に立っているのを見た。そして民は皆立ち上がり、それぞれの天幕の入り口で礼拝した。 （出エジプト記 33:9-10）

すると主は雲の中に降りて来られ、彼と共にそこに立ち、主の御名を告げ知らせられた。出エジプト記 34:5

すると雲が会見の幕屋を覆い、主の栄光が幕屋を満たした。 モーセは会見の幕屋に入ることができなかった。雲が幕屋の上にとどまり、主の栄光が幕屋を満たしていたからである。そして雲が幕屋の上から立ち去ると、イスラエルの民は旅を続けた。 しかし、雲が昇らなかったならば、彼らは雲が昇る日まで旅に出なかった。 主の雲は昼は幕屋の上にあり、夜は火がその上にあった。イスラエルの全家は、旅の途中ずっと、その光景を目にしていた。出エジプト記 40: 34-38

主はモーセに言われた。「あなたの兄弟アロンに言いなさい。彼は決して幕の内側にある聖所、すなわち契約の箱の上にある贖罪所の前に入ってはならない。そうしないと彼は死ぬからだ。わたしは雲の中に現れて贖罪所の上に現れるからだ。」 彼は主の前に火の上に香を置く。香の煙が証しの上にある贖罪所を覆い、彼が死なないようにするためである。レビ記 16: 2、13

幕屋が建てられた日、雲が幕屋、すなわち証しの幕屋を覆い、夕方になると、幕屋の上に火のようなものが現れ、朝まで続いた。 そうだったのだ。昼間は雲に覆われ、夜になると炎の姿が浮かび上がる。 そして雲が幕屋から立ち去ると、その後イスラエルの子らは旅に出た。そして雲が宿っていた場所に、イスラエルの子らは天幕を張った。 主の命令によってイスラエルの子らは旅をし、主の命令によって宿営した。雲が幕屋の上にとどまっている間、彼らは天幕の中で休んだ。 そして雲が幕屋の上に何日もとどまったとき、イスラエルの子らは主の命令を守り、旅に出なかった。 こうして、雲が幕屋の上に数日間とどまったとき、彼らは主の命令に従って天幕にとどまり、また主の命令に従って旅をした。雲が夕方から朝までとどまり、朝に雲が昇ると、彼らは旅をした。雲が昇ったのが昼であろうと夜であろうと、彼らは旅をした。雲が幕屋の上にとどまり、二日間であろうと、一ヶ月であろうと、一年であろうと、イスラエルの子らは天幕にとどまり、旅をしなかった。しかし、雲が昇ると、彼らは旅をした。民数記 9:15-22

第二年の第二の月の二十日に、雲は証しの幕屋から立ち昇った。イスラエルの子らはシナイの荒野から旅立ち、雲はパランの荒野にとどまった。主の雲は、彼らが宿営地を出た昼間、彼らの上にあった。民数記 10:11-12,34

主は雲の中に降りて来て、彼に語りかけ、彼の上に宿っていた霊を取り、それを七十人の長老たちに与えられた。霊が彼らの上に宿ると、彼らは預言し、それをやめなかった。（民数記 11:25）

主は雲の柱の中に降りて来られ、幕屋の入り口に立って、アロンとミリアムを呼ばれた。二人は出てきた。雲が幕屋から去ると、見よ、ミリアムは雪のように白く、らい病にかかった。アロンがミリアムを見ると、見よ、彼女はらい病にかかっていた。民数記 12:5,10

そして彼らはこの地の住民にそれを告げるであろう。主よ、あなたがこの民の中におられ、主よ、あなたが顔を合わせて現れ、あなたの雲が彼らの上に立ち、あなたが昼は雲の柱の中に、夜は火の柱の中に、彼らの前を進んで行かれることを、彼らは聞いているからである。民数記 14:14

会衆がモーセとアロンに反抗して集まったとき、彼らは会見の幕屋の方を見た。すると、見よ、雲が幕屋を覆い、主の栄光が現れた。（民数記 16:42）

あなたたちより先に道に出て、あなたたちが天幕を張る場所を探し出し、夜は火の中を、昼は雲の中を、あなたたちが進むべき道を示した者。申命記 1:33

あなたがたは近づいて山の下に立った。すると山は火で燃え上がり、天の真ん中まで達し、暗闇と雲と濃い闇に包まれた。（申命記 4:11）

主はこれらの言葉を、山の上で、火と雲と濃い闇の中から、大声であなたがたの全会衆に語られた。そして、それ以上何も付け加えられなかった。主はそれらを二枚の石板に書き記し、私に渡された。申命記 5:22

主は雲の柱の中に幕屋に現れた。雲の柱は幕屋の入り口の上に立っていた。（申命記 31:15）

歴史

主よ、あなたがセイルから出て行かれたとき、エドムの野から進軍されたとき、地は震え、天は崩れ落ち、雲も水を降らせました。（士師記 5:4）

そして彼は、自分の周りに暗闇の幕屋、暗い水、そして厚い雲を造り出した。サムエル記下 22:12

彼は、太陽が昇る朝の光、雲一つない朝の光のようであり、雨上がりの澄んだ光の中で大地から芽吹く若草のようである。サムエル記下 23:4

祭司たちが聖所から出てきたとき、雲が主の家を満たした。そのため、祭司たちは雲のために立って奉仕することができなかった。主の栄光が主の家を満たしていたからである。列王記上 8:10-11

七度目に、彼は言った。「見よ、海から人の手のひらほどの小さな雲が立ち昇る。」そして言った。「上って行って、アハブに言いなさい。『戦車を用意して、雨に邪魔されないように下って来なさい。』」その間に、空は雲と風で真っ黒になり、大雨が降った。アハブは戦車に乗ってイズレエルへ行った。列王記上 18:44-45

トランペットを吹く者と歌う者たちが一つになって、主を賛美し感謝するために、一つの音を響かせた。彼らがトランペットとシンバルと楽器を奏でて声を上げ、主を賛美して言った。「主は善い方、その慈しみはとこしえに続く」と。すると、主の家、すなわち神殿が雲で満たされた。祭司たちは雲のために立って奉仕することができなかった。主の栄光が神殿を満たしていたからである。歴代誌下 5:13-14

さらに、あなたは昼は雲の柱で、夜は火の柱で彼らを導き、彼らが進むべき道を照らしてくださいました。しかし、あなたは豊かな慈しみをもって、荒野で彼らを見捨てませんでした。昼は雲の柱が彼らを導き、夜は火の柱が彼らを照らし、進むべき道を示されました。ネヘミヤ記 9:12,19

詩

闇と死の影がそれを汚し、雲がそれを覆い、昼の暗闇がそれを恐れさせるように。ヨブ記 3:5

雲が消え去るように、墓に下る者は二度と上がって来ない。ヨブ記 7 章 9 節

たとえ彼の威光が天にまで達し、頭が雲にまで届いても、彼は自分の糞のように永遠に滅びるだろう。彼を見た者は、「彼はどこにいるのか」と言うだろう。 ヨブ記 20: 6-7

あなたは言う、「神はどのようにして知るのか。暗い雲を通して裁くことができるのか」と。厚い雲は神を覆い隠すので、神は見ることができない。そして神は天の巡回を歩んでおられる。ヨブ記 22:13-14

主は厚い雲の中に水を閉じ込め、雲は水の下で裂けることはない。主は御座の顔を隠し、その上に雲を広げられる。ヨブ記 26:8-9

恐怖が私に襲いかかり、風のように私の魂を追い詰める。私の平安は雲のように消え去る。ヨブ記 30:15

天を見上げよ。見よ、あなたよりも高い雲を。ヨブ記 35:5

雲はそれを人の上に豊かに降らせ、注ぎ込む。また、雲の広がりや、その幕屋の騒音を理解できる者がいるだろうか。雲で光を覆い隠し、間に現れる雲によって光を輝かせないように命じる。ヨブ記 36:28-29,32

また、神は水をかけて厚い雲を疲れさせ、輝く雲を散らす。神がいつ雲を配置し、その雲の光を輝かせたか、あなたは知っているか。雲のバランス、完全な知識を持つ方の驚くべき御業を知っているか。今、人々は雲の中にある輝く光を見ない。風が通り過ぎて、雲を清めるからである。ヨブ記 37:11,15-26,21

私が雲をその衣とし、濃い闇をその産着としたとき、あなたは雲に向かって声を上げ、豊かな水があなたを覆うようにできるだろうか。誰が知恵をもって雲を数えることができるだろうか。誰が天の瓶を閉めることができるだろうか。ヨブ記 38:9,34,37

彼は暗闇を隠れ家とし、その幕屋は暗い水と厚い雲で囲まれていた。彼の前に現れた輝きによって、厚い雲は雹と燃える炭火とともに過ぎ去った。詩篇 18:11-12

主よ、あなたの慈しみは天にまで及び、あなたの真実は雲にまで達します。詩篇 36:5

あなたの慈しみは天にまで及び、あなたの真実は雲にまで及ぶ。詩篇 57:10

力は神に帰せられる。イスラエルの上に神の威光があり、その力は雲の中にある。詩篇 68:34

雲は水を注ぎ出し、大空は音を発し、あなたの矢もまた放たれた。詩篇 77:17

昼間は雲で彼らを導き、夜は火の光で彼らを導いた。主は上から雲に命じ、天の扉を開かれた。詩篇 78:14,23

雲と暗闇が彼を取り囲み、正義と裁きが彼の王座の住まいである。詩篇 97:2

彼は雲の柱の中で彼らに語りかけ、彼らは彼の証しと、彼が与えた律法を守った。詩篇 99:7

水の中に住居の梁を据え、雲を戦車とし、風の翼に乗って歩む方。詩篇 104:3

主は雲を広げて覆い、火を広げて夜を照らされた。詩篇 105:39

あなたの慈しみは天よりも大きく、あなたの真実は雲にまで届く。詩篇 108:4

天を雲で覆い、地に雨を降らせ、山々に草を生やすのは誰か。詩篇 147:8

彼の知識によって深淵は砕かれ、雲は露を落とす。箴言 3:20

彼が雲を天上に築き、深淵の泉を強めたとき、箴言 8:28

王の御顔の光の中にこそ命があり、その恵みは晩雨の雲のようだ。 箴言 16:15

偽りの賜物を誇る者は、雨を降らせない雲や風のようなものだ。 箴言 25:14

雲が雨で満ちているなら、それは地上に雨を降らせる。木が南に向かって倒れても、北に向かって倒れても、木が倒れた場所にそのまま残る。 風を気にする者は種を蒔かず、雲を気にする者は刈り取らない。 伝道の書 11: 3-4

太陽も、光も、月も、星も暗くならず、雨上がりに雲が戻ってくることもない。 伝道の書 12:2

預言者

主はシオンの山のすべての住まいと集会の上に、昼は雲と煙を、夜は燃える火の輝きを創造される。すべての栄光の上に守りがあるからである。 イザヤ書 4:5

わたしはそれを荒廃させる。剪定も耕作もせず、いばらととげが生い茂るであろう。わたしは雲に命じて、そこに雨を降らせないようにする。 イザヤ書 5:6

わたしは雲の高さよりも高く昇り、いと高き者のようになる。 イザヤ書 14:14

主は私にこう言われた。「わたしは休んで、わたしの住まいで、草木に降り注ぐ澄んだ熱のように、収穫期の暑さの中の露の雲のように、思いを巡らそう。」 イザヤ書 18:4

エジプトの重荷。見よ、主は速い雲に乗ってエジプトに来られる。エジプトの偶像は主の御前で動揺し、エジプトの心はその中で溶け去るであろう。 イザヤ書 19:1

あなたは異邦人の騒音を、乾いた地の暑さのように、雲の影で暑さを鎮めるように、低くするであろう。恐るべき者たちの枝は低くされるであろう。 イザヤ書 25:5

わたしは厚い雲のようにあなたの背きを消し去り、雲のようにあなたの罪を消し去った。わたしのもとに立ち返りなさい。わたしはあなたを贖ったのだから。 イザヤ書 44:22

雲のように、また鳩のように窓辺に飛んでくるこれらの人々は、いったい誰なのだろうか。イザヤ書 60:8

見よ、彼は雲のようにやって来る。彼の戦車は旋風のようであり、彼の馬は鷲よりも速い。ああ、我々は災いだ。我々は滅びる。 エレミヤ書 4:13

主は怒りのあまり、シオンの娘を雲で覆い、イスラエルの美しさを天から地に投げ落とし、怒りの日にその足台を忘れてしまった。 哀歌 2:1

あなたは雲で身を覆い、私たちの祈りが届かないようにされた。 哀歌 3:44

そして私が見ると、見よ、北から旋風が吹き、大きな雲が現れ、その中に火が渦巻いていた。その周りには輝きがあり、火の真ん中から琥珀色の光が放たれていた。 雨の日の雲の中に現れる虹のように、その周りの輝きはまばゆいばかりであった。これは主の栄光の姿に似ていた。それを見た私は顔を地に伏せ、語りかける者の声を聞いた。 エゼキエル書 1:4、28

すると、イスラエルの家の長老たち七十人が彼らの前に立っていた。その中にはシャファンの子ヤアザニヤが立っていて、それぞれが手に香炉を持っていた。すると、濃い香の煙が立ち昇った。 エゼキエル書 8:11

すると、その男が中に入ると、ケルビムたちは家の右側に立っていた。そして、雲が内庭を満たした。 すると、主の栄光がケルビムから昇り、家の敷居の上に留まった。家は雲で満たされ、庭は主の栄光の輝きで満たされた。 エゼキエル書 10: 3-4

その日は近い、主の日が近い、曇りの日、それは異邦人の時となる。 テハフネヘスでも、わたしがそこでエジプトのくびきを打ち砕くとき、日は暗くなる。エジプトの力の栄華は終わり、雲がエジプトを覆い、その娘たちは捕囚となる。 エゼキエル書 30: 3、18

わたしがあなたを追放するとき、わたしは天を覆い、その星々を暗くする。わたしは太陽を雲で覆い、月は光を放たなくなる。 エゼキエル書 32:7

羊飼いが散らされた羊の中にいて、その群れを探し出すように、わたしもわたしの羊を探し出し、曇りの暗い日に散らされたすべての場所から彼らを救い出す。 エゼキエル書 34:12

あなたは嵐のように昇り、やって来る。あなたは雲のように地を覆い、あなたとあなたのすべての軍勢、そしてあなたと共にいる多くの民が現れる。 あなたは雲のように地を覆い、わたしの民イスラエルに向かって攻め上ってくるであろう。それは終わりの日に起こるであろう。わたしはあなたをわたしの地に攻め上らせ、異邦人がわたしを知るようにする。ゴグよ、わたしは彼らの目の前で、あなたを通して聖なる者となるであろう。 エゼキエル書 38: 9、16

私は夜の幻の中で見た。見よ、人の子のような方が天の雲に乗って来て、日の老いたる者のもとに近づき、人々は彼をその前に連れてきた。 ダニエル書 7:13

エフライムよ、わたしはあなたに何をしてあげようか。ユダよ、わたしはあなたに何をしてあげようか。あなたの善行は朝の雲のようで、朝露のように消え去ってしまう。 ホセア書 6:4

それゆえ、彼らは朝の雲のようであり、消え去る朝露のようであり、旋風によって床から吹き飛ばされるもみ殻のようであり、煙突から出る煙のようである。 ホセア書 13:3

暗く陰鬱な日、雲と濃い闇の日、朝が山々に広がるように。偉大な民、強大な民。かつてこのような民は存在せず、幾世代にも渡って、今後も二度と現れないだろう。 ヨエル書 2:2

主は怒るのが遅く、力に富み、決して悪人を罰しないことはない。主は旋風と嵐の中に道を持ち、雲は主の足元の塵である。 ナホム書 1:3

その日は怒りの日、苦難と苦悩の日、荒廃と滅びの日、暗闇と陰鬱の日、雲と濃い闇の日、ゼパニヤ書 1:15

終わりの雨の時に、主に雨を求めよ。そうすれば、主は輝く雲を造り、野の草すべてに雨を降らせるであろう。 ゼカリヤ書 10:1

福音書

彼がまだ話しているうちに、見よ、輝く雲が彼らを覆い、雲の中から声が聞こえた。「これはわたしの愛する子、わたしの心にかなう者である。彼に聞き従いなさい。」 マタイによる福音書 17:5

そのとき、人の子のしるしが天に現れる。そのとき、地上のすべての部族は嘆き悲しみ、彼らは人の子が力と大いなる栄光を伴って天の雲に乗って来るのを見るであろう。 マタイによる福音書 24:30

イエスは彼に言われた。「あなたが言ったとおりです。しかし、わたしはあなたがたに言います。これからあなたがたは、人の子が力ある者の右の座に着き、天の雲に乗って来るのを見るでしょう。」 マタイによる福音書 26:64

すると雲が彼らを覆い、雲の中から声が聞こえてきた。「これは私の愛する子である。彼に聞き従いなさい。」 マルコによる福音書 9:7

その時、人々は人の子が大きな力と栄光を伴って雲に乗って来るのを見るであろう。 マルコによる福音書 13:26

イエスは言われた。「わたしはそうである。あなたがたは人の子が力ある者の右に座し、天の雲に乗って来るのを見るであろう。」 マルコによる福音書 14:62

彼がこう話していると、雲が現れて彼らを覆い隠した。彼らは雲の中に入ると、恐れを抱いた。 すると雲の中から声が聞こえてきた。「これは私の愛する子である。彼に聞き従いなさい。」 ルカによる福音書 9: 34-35

またイエスは民衆に言われた。「あなたがたは西から雲が立ち昇るのを見ると、すぐに『雨が降る』と言う。そしてそのとおりになる。」 ルカによる福音書 12:54

その時、人々は人の子が力と大いなる栄光を伴って雲に乗って来るのを見るであろう。 ルカによる福音書 21:27

イエスがこれらのことを話し終えると、彼らが見ている前で、イエスは天に上げられ、雲が彼らを覆い隠して見えなくなった。 使徒行伝 1:9

書簡

また兄弟たちよ、あなたがたに知っておいてほしいのは、わたしたちの先祖は皆雲の下にいて、皆海を渡ったということです。 そして彼らは皆、雲の中と海の中でモーセにバプテスマを受けた。 コリント人への手紙第一 10: 1-2

そして、生き残っている私たちも、彼らと共に雲の中に引き上げられ、空中で主にお会いするのです。こうして、私たちはいつまでも主と共にいることになります。 テサロニケ人への手紙第一 4:17

ですから、私たちもまた、これほど多くの証人たちに囲まれているのですから、あらゆる重荷と、私たちを容易に絡め取る罪を捨て去り、私たちの前に置かれている競走を忍耐をもって走り続けましょう。 ヘブライ人への手紙 12:1

これらは水のない井戸であり、嵐に運ばれる雲である。彼らには永遠に暗闇の霧が待ち受けている。 ペテロ第二 2:17

彼らは、あなたがたの慈善の宴会における汚れであり、あなたがたと共に宴会を催し、恐れることなく自らを養う。彼らは水のない雲であり、風に吹き飛ばされる。実を結ばず、枯れ果てた木であり、二度死んで、根こそぎ引き抜かれる。 ユダ 1:12

啓示

見よ、彼は雲に乗って来る。すべての目が彼を見るであろう。彼を刺した者たちも見るであろう。そして、地のすべての部族は彼のために嘆き悲しむであろう。まことに、アーメン。 ヨハネの黙示録 1:7

また、私はもう一人の力強い天使が雲をまとって天から降りてくるのを見た。その頭には虹があり、顔は太陽のようで、足は火の柱のようであった。 ヨハネの黙示録 10:1

すると、天から大きな声が聞こえてきて、「こちらへ上って来なさい」と言われた。彼らは雲に乗って天に昇った。敵たちは彼らを見た。 ヨハネの黙示録 11:12

そして私が見ると、見よ、白い雲があり、その雲の上に人の子のような方が座っておられた。その頭には金の冠があり、手には鋭い鎌を持っておられた。 また、別の天使が神殿から出てきて、雲の上に座っている方に大声で叫んだ。「鎌を振り下ろして刈り取りなさい。刈り取る時が来た。地の収穫は熟した。」 そして雲の上に座しておられる方が、鎌を地上に振り下ろされた。こうして地は刈り取られた。」 ヨハネの黙示録 14: 14-16

外典

その後、私の目の前を水雲が通り過ぎ、激しい嵐とともに大雨を降らせた。そして、嵐の雨が過ぎ去ると、雨粒は静かに止んだ。 第二エズラ書 4:49

しかし、危険にさらされている者にとっては、これらのことに関わる方が、雲のように世から消え去り、終わりの日に起こることを見ることなく終わるよりも容易である。そして彼は私に答えて言った。 第二エズラ書 13:20

見よ、東から北から南まで雲が現れる。それは見るに堪えないほど恐ろしく、怒りと嵐に満ちている。東から強い風が吹き、雲を裂く。そして、怒りによって起こされた雲と、東

と西の風に向かって恐怖を引き起こすために揺り動かされた星は滅びる。巨大で力強い雲と星は怒りに満ちて膨れ上がり、全地とその住民を恐れさせる。そして、あらゆる高所と目立つ場所に恐ろしい星を注ぎ出すであろう。（第二エズラ書 15: 34、39-40）

そして、私たちの名は時とともに忘れ去られ、私たちの行いを記憶する者は誰もいなくなるでしょう。私たちの命は雲の跡のように消え去り、太陽の光に吹き飛ばされ、その熱に負けて消え去る霧のように散ってしまうでしょう。ソロモンの知恵 2:4

その時、狙いを定めた雷が放たれ、雲の中から、よく引かれた弓のように、的を射るであろう。ソロモンの知恵 5:21

すなわち、雲が陣営を覆い、水があった場所に乾いた地が現れ、紅海から障害のない道が現れ、激流から緑の野原が現れた。ソロモンの知恵 19:7

金持ちが話すと、皆口をつぐみ、その言葉に皆が感嘆の声を上げる。しかし、貧乏人が話すと、「この男は何者だ」と言い、もし彼がつまずけば、皆が彼を陥れようとする。シラ書 13:23

わたしは至高者の口から出て、雲のように地を覆った。わたしは高き所に住み、わたしの王座は雲の柱の中にある。シラ書 24:3-4

主にお仕えする者は恵みをもって受け入れられ、その祈りは雲に届く。謙遜な者の祈りは雲を貫く。そして、それが近づくまで、彼は慰められず、いと高き方が正義をもって裁き、裁きを下すまで、彼は去らない。苦難の時に慈悲は時宜を得ており、干ばつの時に雨雲が降るように。シラ書 35:16-17,20

これによって宝が開かれ、雲は鳥のように飛び立つ。彼はその偉大な力によって雲を堅固にし、雹を砕く。シラ書 43:14-15

主は彼に御声を聞かせ、暗雲の中へ導き入れ、御前で戒め、すなわち命と知識の律法を与え、ヤコブにその契約を、イスラエルにその裁きを教えるようにされた。（シラ書 45:5）

彼は雲間の明けの明星のようであり、満月のようであった。いと高き方の神殿を照らす太陽のようであり、明るい雲間を照らす虹のようであった。実を結ぶ美しいオリーブの木のようであり、雲にまで伸びる糸杉のようであった。シラ書 50:6-7,10

誰が天に昇り、彼女を連れてきて、雲の中から連れてきたのか。バルク書 3:29

神が雲に全世界を覆うように命じると、雲は命じられたとおりに行動する。エレミヤ書 1:62

稲妻よ、雲よ、主をほめたたえよ。永遠に主を賛美し、すべてのものの上に主を崇めよ。アザリヤの祈り 1:51

これが終わり、雲に隠れていた太陽が輝く時が来ると、大きな火が燃え上がり、人々は皆驚いた。マカバイ記第二 1:22

そのとき、主は彼らにこれらのことを示され、主の栄光と雲が現れるであろう。それはモーセの時代に示されたように、またソロモンがその場所を尊く聖別することを望んだ時のように。マカバイ記第二 2:8

エノク

夏と冬を見よ。いかに全地が水で満たされ、雲と露と雨がその上に降り注ぐか。エノク書 2 章 3 節

そして、多くの不敬虔が生じ、彼らは姦淫を犯し、惑わされ、あらゆる道において堕落した。セムヤザは呪術と根切りを教え、アルマロスは呪術の解法を教え、バラキヤルは占星術を教え、コカベルは星座を教え、エゼケエルは雲の知識を教え、アラキエルは地のしるしを教え、シャムシエルは太陽のしるしを教え、サリエルは月の運行を教えた。そして、人々が滅びゆくとき、彼らは叫び、その叫びは天にまで届いた... エノク書 8:2

そして、その幻は私に次のように示された。見よ、幻の中で雲が私を招き、霧が私を呼び寄せ、星の運行と稲妻が私を加速させ、幻の中の風が私を飛ばし、私を上空へと持ち上げ、天へと運んだ。エノク書 14 章 8 節

私は地上の風が雲を運ぶのを見た。天使たちの道を見た。地の果てに天の空を見た。エノク書 18 章 5 節

北西に向かって流れる勢い豊かな水路のように、それは四方八方に雲と露を立ち昇らせた。エノク書 28 章 3 節

そしてそこで私の目は稲妻と雷鳴の秘密、風の秘密、風がどのように分かれて地上に吹き渡るのか、雲と露の秘密を見た。そして私はそこで、それらがどこからその場所へ来て、どこから塵に覆われた大地を濡らすのかを見た。そして私はそこで、風が分かれる閉ざされた部屋、雹と風の部屋、霧と雲の部屋を見た。そしてその雲は世界の始まりから地上に漂っている。エノク書 41:3-4

そして露の精霊は天の果てに宿り、雨の部屋と結びついており、その流れは冬と夏に及ぶ。そして露の雲と霧の雲は結びついており、一方が他方に与える。エノク書 60:20

そして、中央の門からは健康と雨と露と繁栄がまっすぐにやって来る。そして、西の第三の門からは雲と霜と雪と雨と露とイナゴがやって来る。エノク書 76:11

そして第四の領域、すなわち北は三つの部分に分けられる。第一の領域は人間の居住地であり、第二の領域には海の海、深淵、森、川、暗闇、雲があり、第三の領域には義の園がある。エノク書 77:3

ああ、私の目が水の雲であったなら、あなたのために泣き、水の雲のように涙を流すことができたのに。そうすれば、私の心の苦しみから解放されるだろう。エノク書 95 章 1 節

そして主は、あらゆる雲、霧、露、雨を呼び出して、あなたに対する証言をさせるであろう。なぜなら、それらはすべて、あなたたちの罪のためにあなたたちに降り注ぐことを阻まれ、あなたたちの罪を思い起こすからである。エノク書 100:11

そして私はそこに、見えない雲のようなものを見た。その深さゆえに見渡すことができなかったが、私は明るく燃え盛る炎と、輝く山々のようなものがぐるぐると回り、あちこちと揺れ動いているのを見た。エノク書 108:4

ジャシャー

そして彼は彼に言った、「あなたの息子、あなたの愛する一人息子イサクを連れて、モリヤの地に行き、あなたに示される山の一つで、彼を焼き尽くす捧げ物としてささげなさい。そこであなたは雲と主の栄光を見るであろう。」すると、彼には地から天に届く火の柱が現れ、山の上に栄光の雲が現れ、雲の中に主の栄光が現れた。アブラハムはイサクに言った、「わが子よ、遠くから見えるあの山に、私が見ているものが見えるか。」イサクは父に答えて言った、「見えます。火の柱と雲があり、雲の上に主の栄光が現れています。」ヤシャルの書 23:2,42-44

主の栄光はシナイ山にとどまり、主はモーセを召された。モーセは雲の中を進み、山に登った。ヤシャルの書 82:8

そしてその月の二十日に、雲は証しの幕屋から取り除かれた。その時、イスラエルの子らはシナイの荒野から旅を続け、三日間旅をした。雲はパランの荒野にとどまった。そこで主の怒りがイスラエルに対して燃え上がった。彼らが食べるために食物を求めて主を怒らせたからである。ヤシェル書 83:25-26

主は雲の柱の中に幕屋に現れ、その雲の柱は幕屋の入口に立っていた。ヤシャルの書 87:2

祝祭

モーセは神の山に登った。主の栄光はシナイ山にとどまり、雲が六日間山を覆った。七日目に、主は雲の中からモーセを呼び、主の栄光の現れは山の頂で燃える火のようであった。ヨベル書 1:2-3

第一の日に、神は上にある天と地と水と、御前に仕えるすべての霊、すなわち、御臨在の天使、聖化の天使、火の霊の天使、風の霊の天使、雲の霊、闇の霊、雪の霊、雹の霊、霜の霊、声の天使、雷の天使、稲妻の天使、寒さと暑さの霊、冬と春と秋と夏の霊、そして天と地にある被造物のすべての霊を創造された。神は、深淵と闇、夕暮れと夜、そして光、夜明けと昼を創造された。これらは、神が御心の知識によって備えられたものである。ヨベル書 2:2

主は雲の中に虹を置かれ、永遠の契約のしるしとされた。それは、地上に洪水が二度と起こらず、地上を滅ぼすことはないという契約であった。（ヨベル書 6:16）

すると、カラスの群れが種を食べに来た。アブラムは、カラスが地に降り立つ前に駆け寄り、種を食べ始める前に叫んで言った。「降りるな。来たところへ戻れ。」するとカラスは引き返した。アブラムはその日、カラスの群れを七十回も引き返させた。アブラムがいた全地のカラスのうち、一羽たりともそこに降り立たなかった。ヨベル書 11:18-19

聖書の失われた書物

しかし、ヨセフは言った。「私が歩いていると、空を見上げると、雲が驚き、空の鳥が飛んでいる途中で止まっているのが見えました。」（原福音書 13:2）

すると、明るい雲が洞窟を覆い、助産婦は言った。「今日、私の魂はあがめられました。私の目は驚くべきものを見たからです。イスラエルに救いがもたらされました。」ところが、突然、雲が洞窟の中で大きな光となり、彼らの目は耐えられなくなった。原福音書 14:10-11

私たちはこれまでここにいて、死を味わうことはありませんでしたが、今や反キリストの到来とともに、神のしるしと奇跡を携えて戻って来ようとしています。そしてエルサレムで彼と戦い、彼に殺され、三日半後に生きたまま雲の中に引き上げられるのです。（ニコデモ福音書 20:4）

そこで人々はその山に火をつけた。炎は非常に大きかったが、彼女には届かなかった。神が彼女を憐れみ、地中から大噴火を起こし、上空から雲が降り注ぎ、大量の雨と雹が降り注いだからである。（パウロとテクラの行伝 5:15）

しかし、魚（海の仔牛）は稲妻と火を見て死んでしまい、水面に浮かんで死んでしまった。そして、テクラは火の雲に包まれたので、獣が彼女に近づくことができなかったように、人々も彼女の裸を見ることができなかった。パウロとテクラの行伝 9:9

彼女はそこから出発してセレウキアに行き、多くの人々にキリストの知識を授けた。そして、輝く雲が彼女の旅を導いた。セレウキアに着くと、彼女は町から一ハロンほど離れた場所へ行った。そこの住民は偶像崇拝者であったので、彼女は彼らを恐れていたからである。そして彼女は（雲に導かれて）カラモン、あるいはロデオンと呼ばれる山へ行った。彼女はそこで長年暮らし、悪魔の多くの激しい誘惑を受けたが、キリストの助けによって、それを立派に耐え忍んだ。（パウロとテクラの行伝 10:11-14）

私たちは理解力に欠け、石や木、金、銀、青銅といった人間の手によるものを崇拝し、私たちの人生は死以外の何物でもありませんでした。それゆえ、暗闇に包まれ、目の前に霧がかかっていた私たちは、見上げ、神の御心によって、私たちを覆っていた雲を取り除かれました。神は私たちを憐れみ、私たちへの深い憐れみを抱き、私たちを救ってくださいました。神は私たちの中に多くの誤りと破滅を見て、私たちには神を通して以外には救いの望みがないことを悟られたのです。 コリント人への手紙第二 1:7-9

そして、男と女はもはや男でも女でもない。—彼はこう言っている。彼は私たちの怒りを男、情欲を女と呼んでいる。それゆえ、人がこれらのどちらにも服従しない境地に達したとき（どちらも慣習の蔓延と悪しき教育によって理性を曇らせ、暗くする）、むしろ、それらから生じる霧を払い、恥に満ち、悔い改めによって魂と精神を理性の服従において一つに結びつけたとき、パウロが言うように、私たちの中には男も女もない。第二クレメンス、コリントの信徒への手紙 5:4-6

それゆえ、イエスは地上にいた時と全く同じ姿で現れるであろうので、ユダヤ人は以前、美しく同じ大きさのヤギを二匹用意するように命じられていた。それは、彼らが将来、天の雲に乗って来られる救い主を見た時、そのヤギの姿に驚くためである。バルナバの一般書簡 6:12

忘れられたエデンの書

しかし、狡猾なサタンは彼らが園へ向かっているのを見て、配下の者たちを集め、雲に乗って現れ、彼らを欺こうとした。アダムとイブの書 28:1

神はさらに私に言われた。「もしあなたが歩く力がないなら、雲を送ってあなたを運び、彼らの洞窟の入り口に降ろそう。それから雲は戻って、あなたをそこに残すだろう。もし彼らがあなたと一緒に来るなら、雲を送ってあなたと彼らを運ぼう。」それから神は雲に命じ、雲は私を運び上げてあなたのところへ連れて行き、それから戻って行った。アダムとイブの書 60:23-25

エノクが息子たちにそのことを話した時、天使たちは彼を翼に乗せて第一の天へと運び上げ、雲の上に置いた。そこで私は見上げ、さらに高く見上げると、エーテルが見えた。そして彼らは私を第一の天に置き、地上の海よりもはるかに大きな海を見せてくれた。『エノクの秘密』3:1

そして私は下を見下ろし、雪の宝庫と、その恐ろしい宝庫を守る天使たち、そして彼らが出入りする雲を見た。『エノクの秘密』5:1

そして、天使の階級から一人の者が、自分の下にあった階級と共に背を向け、あり得ない考えを思いついた。それは、自分の玉座を地上の雲よりも高く据え、私の力と同等の地位を得ようというものだった。『エノクの秘密』29:3

（金曜日）六日目に私は知恵に命じて、七つの要素から人間を創造させた。一つ目は、大地から肉を、二つ目は、露から血を、三つ目は、太陽から目を、四つ目は、石から骨を、五つ目は、天使の速さと雲から知性を、六つ目は、大地の草から血管と髪を、七つ目は、私の息と風から魂を創造した。エノクの秘密 30:10

あなたがたは私の唇の言葉を聞く。私が主の言葉を聞いたように、それは絶え間なく轟く雷鳴のように雲を吹き飛ばす。『エノクの秘密』39:7

そして私は太陽の円を測り、その光線を測り、時間を数え、地上を巡るすべてのことを書き留めた。私は養われるもの、蒔かれた種と蒔かれていない種、大地が生み出すすべての植物、すべての草とすべての花、それらの甘い香り、それらの名前、雲の住処、その構成、その翼、そして雨と雨粒を運ぶ方法を書き記した。そして私はすべてのことを調べ、雷と稲妻の道を書き記した。そしてそれらは私に鍵とその守護者、その上昇、その進路を示した。それは鎖によって（穏やかに）徐々に解き放たれる。重い鎖と暴力によって怒れる雲が投げ落とされ、地上のすべてのものが破壊されないようにするためである。私は雪の宝庫と寒さと霜の空気の貯蔵庫を書き記し、季節の鍵の持ち主を観察した。彼は雲をそれらで満たし、宝庫を枯渇させない。エノクの秘密 40:5-7

私を迫害する者たちはやって来ても私を見ることはないだろう。暗闇の雲が彼らの目に覆いかぶさり、濃い陰鬱な空気が彼らを暗くするだろう。ソロモンの頌歌 5:4-5

主は静かに私の上に露を注ぎ、平和の雲を私の頭上に昇らせ、絶えず私を守られた。それは私にとって救いとなり、万物は揺るがされ、人々は恐れおののいた。ソロモンの頌歌 35:1-3

いと高き方の偉大さにしたがって、主は私を造られた。主はご自身の新鮮さのように私を新しくし、ご自身の完全さから私に油を注がれた。こうして私は主の隣人の一人となり、私の口は露の雲のように開かれ、私の心は義の奔流のように溢れ出た。そして私は平安のうちに主のもとに近づき、主の統治の霊によって堅く立てられた。ハレルヤ。ソロモンの頌歌 36:5-8

彼の時代には天は喜び、地は歓喜し、雲は歓喜する。主を知る知識は、海の水のように地に注がれる。主の御臨在の栄光の天使たちは、彼にあって喜ぶであろう。レビの遺訓 5:18-20